

ガス管が古くなったら...

古くなったガス管は交換。

土の中に埋められている白ガス管(亜鉛メッキ鋼管)は、交換しましょう。

ガス管の腐食状況(例)

新しい
↓
古い

交換 場所に合わせ最適なガス管にお取り替えます。

ポイント

- 敷地内のガス管はお客さまの大切な所有物です。ガス管の修理、お取り替えについては有償となります。
- 現在ガス管の材料として使用されているポリエチレン管や被覆鋼管は、腐食に強いガス管です。
- 場所に合わせた、最適なご提案をさせていただきますので、河内長野ガスまでお問合せください。

〈白ガス管とは?〉

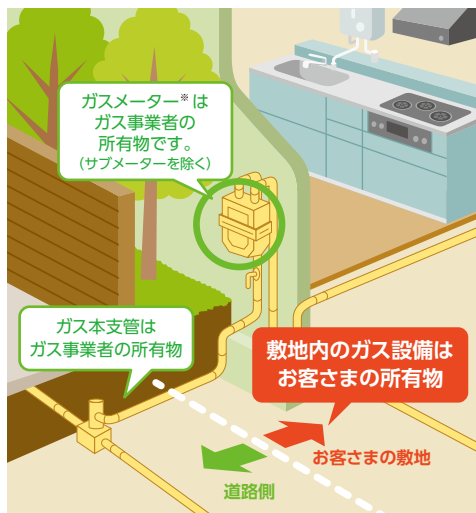
鋼管表面に亜鉛メッキを施したガス管をいいます。白ガス管は、強度・耐食性・施工性等を兼ね備えたガス管の材料として昭和20年代から一般的に使用されてきました。長年土の中に埋められた白ガス管は、土の性質や水分などの影響により徐々に腐食が進行し、ガスもれが発生する場合があります。

※土質や環境により腐食の度合いが異なります。

ポリエチレン管

ポリエチレン被覆鋼管

硬質塩化ビニル被覆鋼管



*ガスメーターは計量法に基づき、検定満期となる前に河内長野ガスがお取り替えいたします。

ガス臭い場合はすぐに連絡!

《ガスもれ専用電話》24時間・365日の保安体制で緊急時に備えています。

0120-569-317

▶もしものために暮らしを見張ります ガス事業者の主な保安体制

365日・24時間保安体制
ガスもれ、ガス事故などの緊急時に備えて、係員と緊急車が常時待機しています。

保安点検
法令に基づき定期的にお客さま宅にお伺いし、ガスもれ点検や給排気設備の調査を行っています。

Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社

もしガスもれに気付いたら...

ガス臭い場合はすぐに連絡。

ガス警報器が作動したり、ガス臭いと感じたときはすぐに河内長野ガスへご連絡ください。



ガス臭いと感じた時の手順

火気は絶対使用しないでください。

着火源となる換気扇、電灯などのスイッチに絶対手を触れないでください。

火気厳禁

窓や戸を大きく開けましょう

ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう

すぐに河内長野ガス《ガスもれ専用電話》へご連絡ください!

もしガスが止まったら...

ガスが出ないときは、ガスメーターを確認。

ご家庭の全てのガス機器が使えない場合は、ガスメーターの表示ランプを確認してください。点滅している場合は、周囲がガス臭くないことを確認してから、復帰の手順に従い復帰操作を行ってください。万一ガス臭い場合は、復帰操作を行わず、すぐに河内長野ガスへご連絡ください。

ガスメーターには、次のような場合に安全装置がはたらいて自動的にガスを止める機能があります。安全装置がはたらいた場合、表示ランプ(赤)が点滅します。

- ガスを使用中に大きな地震(震度5相当)が発生した場合
- ガス管の破損などで、多量にガスが流れたり、急にガスの流れが増加した場合
- ガス管にトラブルが発生するなど、ガスの圧力が所定の値より低くなった場合
- ガス機器の長時間使用などで、ガスが長時間流量の変動なく流れ続けた場合*

*お湯の沸かしすぎや鍋がこげるのを防止するものではありません。

ふだんからガスメーターの位置を確認しておいてください



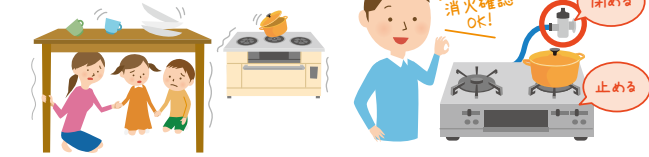
もし大きな地震が起きたら...

地震のときは、身の安全を最優先に。

まずは身の安全を確保しましょう

まずは机の下に身を隠すなどをしてください。ガス使用中に震度5相当以上の地震が発生した場合は、ガスメーター(マイコンメーター)が自動的にガスをシャ断します。あわてず落ち着いて行動しましょう。

揺れがおさまったら
ガスの火を消してください
ガス機器を使用していた場合、ガス機器のスイッチを止めて、ガス栓を閉めてください。



地震のあと、ガスをふたたび使うとき

次のことを確認してください。

- ☑ガス機器周囲でガスの臭いがしないか
- ☑ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
- ☑煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか(はずれ、凹み・穴あきがないか目視確認してください)
- ☑ガス接続具が正しく接続されているか(接続具に外れがないか目視確認してください)
- ☑壁との間にすき間はできていませんか?
- ☑排気筒(煙突)のはずれ、凹み、穴あきはありませんか?
- ☑給気口がふさがっていませんか?
- ☑ゴム管

●異常を確認した場合は、火災や一酸化炭素中毒など、事故のおそれがありますので、ガス機器を使用せず河内長野ガスへご連絡ください。

復帰の手順

- 1 器具栓を閉じるか、運転スイッチを切り、すべてのガス機器を止めてください。屋外の機器も忘れずに。使っていないガス栓は閉まっていることを確認してください。このときメーターガス栓は閉めないでください。
- 2 復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップを外してください。
- 3 復帰ボタンを奥までしっかり押し、表示ランプが点灯したらすぐに手を離してください。復帰ボタンが元に戻り、表示ランプが再点滅します。その後、キャップを元に戻しておきます。
- 4 約3分間お待ちください。この間ガスもれがないか確認していますので、ガスを使わないでください。3分経過後に、再度ガスメーターをご確認頂き、表示ランプの点滅が消えれば、ガスが使えます。

※3分経過後も、ガスが止まったままで表示ランプが点滅している場合は、ガス機器の止め忘れやガスもれが考えられますので、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の止め忘れがないか確認してください。

※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は河内長野ガスへご連絡ください。

河内長野ガスの あんしん 基礎ガイド



安心してガスをお使いいただくために必ずお読みください。

ガス機器に関するお問い合わせはこちら。

〈一般お問い合わせ先〉受付時間: 平日・土・日・祝日 / 9:00~17:00 ※年中無休

0120-053-0012

Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社
〒586-0025 河内長野市昭栄町14番31号 当社ショールーム(キックス西隣)

ガス機器を選ぶ際の注意事項

ガス機器を買う前にガスの種類を確認。

当社がお届けしているガスは、**都市ガス「13A」**です。ガスの種類にあったガス機器を購入し、使用してください。

AB-120-(a)1 都市ガス用13A 〇〇kW(〇〇〇kcal)/ 201704-0001 〇〇株式会社	型式 適用するガスの種類 ガス消費量 製造年月・製造番号 メーカー名
--------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------

- 中毒** ガスの種類とあっていないと、正常な燃焼をせず、不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。
- 火災** ガスの種類とあっていないと、正常な燃焼をせず、不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。

ガス機器の設置は販売店へ相談。

固定して使用するガス機器は、お客さまご自身で設置しないでください。

固定して使用するガス機器の場合の一例

給湯器・ふろがまなど

中毒 ガス機器が正しく設置されない場合、接続箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。また、燃焼した排気ガスが屋内に入り込み、一酸化炭素中毒となるおそれがあります。

火災 ガス機器が正しく設置されない場合、接続箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。また、燃焼した排気ガスが屋内に入り込み、一酸化炭素中毒となるおそれがあります。

ポイント

- 固定して使用されるガス機器の設置には、安全性などの面から、最新の知識や専門的な設置技能が必要です。
- 特に屋内にふろがまなど一部のガス機器を設置する場合は、法令により適正な給排気設備の設置が義務付けられており、工事を行う場合は国で定められた資格が必要です。対象となるガス機器または設置工事の方法は、ガス機器販売店にお問い合わせください。

ガス機器の点検

ガス機器は定期的にお手入れを。

取扱説明書をよく読み、安全な使用や日常管理の方法を確認しましょう。ガス機器や給排気設備は、ときどき清掃・点検しましょう。

<h3>暖房機器</h3> <p>機器背面にあるエアフィルターを定期的にお掃除しましょう。</p> <p>中毒 ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。</p>	<h3>テーブルコンロ</h3> <p>バーナーが目詰まりしないよう、時々器具ブラシなどでお掃除しましょう。</p> <p>中毒 ガス機器ご使用時に不快な臭い、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱、異音、排気口の周辺がすすけているなどがあれば、ただちに使用を中止し、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒または異常燃焼による火災の原因となるおそれがあります。</p>	<h3>小型湯沸器</h3> <p>小型湯沸器の上部(防熱板の下)に汚れや詰まりがないかチェックしましょう。汚れや詰まりがある場合や使用中に火が消えてしまう場合は、メーカーまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください(有償)。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

排気筒(煙突)

いずれも放置しておくと、ガス機器が正常に燃焼しない、あるいは排気が室内に流入するなど、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

中毒 地震・台風・強風・大雨・大雪のあとは、排気筒(煙突)のはずれや、破れがないかどうか確認してください。

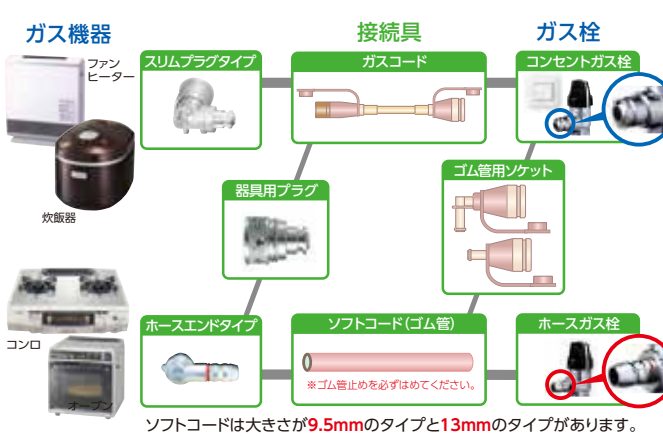
ポイント

- 異常を見つけた場合は、ただちに使用を中止し、河内長野ガスまたはガス機器購入店に点検・修理をお申し込みください。
- 隠ぺい部に設置されている排気筒(煙突)も点検してください。腐食により穴が開いたりすれば、排気が室内に入り込み、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ガス接続の方法と種類

ガス機器を接続するときは“形”と“大きさ”を確認。

ガス機器・ガス栓の接続口のタイプはそれぞれ2種類。接続器具をガス機器・ガス栓へつなぐときは形状やサイズを確認し、それぞれにあったものを使用してください。



ガス栓への取り付け方

〈コンセントガス栓〉 ソケットに無理な力がかからないよう適切な種類を選んでください。

〈ホースガス栓〉 ゴム管は赤い線までキッチリ差し込んでください。

赤い線がない場合は接続方法が正しくない可能性があります。

赤い線まで差し込む

ガス機器とガス栓をつなぐ場合は、接続器具を必ずガス機器側からつないでください。

接続器具がコンロ下などの高温部に近づかないように接続します。

不使用のネジガス栓には、必ずプラグを取り付けます。

プラグ

使われていないネジガス栓にはプラグを取り付けてください。

※プラグが取り付けられていない場合は河内長野ガスにご連絡ください。

ゴム管は、適切な長さで使用してください。

こんなところも要チェック

ひび割れや固くなったもの、古いゴム管(青・赤ゴム管)は、早急にソフトコードにお取り替えください。

使わないガス栓にはガス栓キャップをかぶせてください。*

※ガス栓キャップは、お使用にならないガス栓の口部に傷や汚れがつくことを防止するためのものであり、ガスを止めるために設置するものではありません。お使用にならないガス栓は、誤って開けないように注意してください。

ガスの安全な使い方

キッチン編

ガスを使うときは“換気”。

換気扇を回すか、窓を開けましょう。

中毒 換気しない場合、燃焼に必要な空気(酸素)が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 小型湯沸器は安全装置が付いていても必ず換気をしましょう。
- コンロや小型湯沸器が使用中に止まったら、再点火を繰り返さず河内長野ガスまたはガス機器購入店へ点検を依頼してください。
- 換気扇が汚れていると換気能力が低下します。定期的な点検・清掃してください。

ガス・CO警報器の取り付けをおすすめします。

万一ガスもれや不完全燃焼による一酸化炭素が発生した場合、ランプと警報音でお知らせします。24時間ガスもれやCO発生を監視する暮らしの見張り番です。また、火災が発生したときに、お知らせする機能のついた警報器もあります。

交換期限(5年)が過ぎる前にお取り替えが必要です。ガスの種類によってはガス警報器とCO警報器をそれぞれ設置する必要があります。

調理中はガス機器から目を離さない。

別の用事がある場合は、いったん火を止めましょう。

火災 揚げものをしていときやグリルを使用しているときにその場を離れると、過熱に気づかず火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- 安全装置が付いていても、自分の目で確認することが大切です。
- 揚げもの調理は、天ぷら油過熱防止装置(センサー)の付いている側で行ってください。
- コンロの火が着衣に着火しないようご注意ください。

ガス機器のまわりに燃えやすいものを置かない。

キッチンペーパーやタオルなどをガス機器のまわりに置かないようにしましょう。

火災 炎や排気の熱で発火し、火災の原因になるおそれがあります。

ポイント

- ガス機器は取扱説明書の記載に従い、周囲との離隔距離を正しくとってください。
- 屋外機器の排気口付近にも可燃物を置かないようにしてください。

バスルーム編

空だき注意。沸かす前に排水栓確認。

追いつきの際は、水量が十分あることを確認しましょう。

火災 水量が足りないまま、追い焚きを行うと、過熱によりふろがまを傷めるだけでなく、火災の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 点火がうまく行けないと、点火操作により放出される少量のガスが、一時的に機器内部にたまりやすくなります。
- そのまま繰り返し操作を行うと未燃ガスが徐々にたまるため、点火された際に異常着火し、衝撃で機器が変形するおそれがあります。
- ふろがまが水につかると点火しにくくなる場合がありますので、おふろの排水口は、こまめにお掃除してください。

小型湯沸器をお持ちの場合。

小型湯沸器は、ふろ・洗濯機へのお湯はり、シャワーや洗髪に使わないでください。

中毒 小型湯沸器を長時間連続使用すると、換気が足りず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

ポイント

- 小型湯沸器は燃焼に必要な空気を多く使います。長時間連続使用すると、換気を行っても燃焼に必要な空気が不足するおそれがありますので、絶対にやめください。

工事を行う場合は、機器の使用にご注意ください。

ガス機器・給排気設備をビニールシートなどで覆った場合は、ガス機器を使用しないでください。

屋外に設置されたガス機器や屋内ガス機器の排気口を増改築により屋内化したリ波板などで囲わないでください。

中毒 排気が屋外に排出されず、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

火災 ガス機器が正常に着火しない場合、機器内部にたまった未燃ガスに異常着火し、ガス機器を損傷するおそれがあります。

お部屋編

暖房中も ときどき“換気”。

1時間に1~2回程度、新鮮な空気に入れ替えましょう。

中毒 換気しない場合、燃焼に必要な空気(酸素)が不足して不完全燃焼となり、一酸化炭素中毒の原因となるおそれがあります。

暖房機器は十分な距離をとって使う。

衣類などの燃えやすいものやスプレー缶を近くに置かないでください。温風を長時間直接にあてないでください。

火災 燃えやすいものやスプレー缶が高温になり、発火・爆発するおそれがあります。また、温風を長時間直接にあてると低温やけどになるおそれがあります。

ポイント

- 特に小さなお子さんなど、自分の意思で動けない方がいるご家庭では、長時間温風があたる場所で寝かせないように注意してください。

金網ストープはファンヒーターへのお取り替えをお願いします。

- 赤熱面(金網部分)に変形や、ゆぶれなどの異常がある場合は、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素(CO)中毒の原因となるおそれがあります。
- 不完全燃焼防止装置付のファンヒーターなどへお取り替えください。
- 金網ストープをお持ちの場合は河内長野ガスまでご連絡ください。